



成田 あれ・これ



令和5年10月号 第340号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

状況によりイベントの変更や中止が生じる場合があります。
最新情報をご確認の上お出かけください。ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。
尚、イベントの情報は令和5年8月15日現在です。

成田弦まつり



成田の秋のイベントとして知られる成田弦まつり。成田山表参道の様々な場所で奏でられる弦楽器の演奏を中心に、門前成田寄席(落語)や成田のをどりパレードなど、様々なイベントが開催されます。

成田山へ続く参道を舞台に奏でられる、迫力のある「弦の饗宴」をお楽しみください。

【日時】10月14日(土) 10時30分～17時30分、10月15日(日) 10時15分～17時
14日は、津軽三味線中心の和の演奏、15日は様々な弦楽器の演奏が開催されます。

【場所】成田山表参道・西参道

☆成田山奉納 津軽三味線大演奏会☆

10月14日(土)16時～(雨天中止) 成田山大本堂前

当日14時より成田山大本堂脇にて着席整理券を配布します。

☆けやぐ三味線バトル☆ 若手奏者による白熱の発表会。全国大会の雰囲気を楽しめます。

10月14日(土) 成田山新勝寺総門前ステージ(11時10分～13時50分)

【交通規制】10月14日(土)10時～18時30分 10月15日(日)10時～17時30分

JR 成田駅前～薬師堂～成田山門前(鍋店角)及び薬師堂～幸町交差点

【お問合せ先】成田弦まつり実行委員会事務局(成田商工会議所内)TEL 0476-22-2101



第140回 成田山 菊花大会

明治16年より続く伝統行事です。成田山菊花会の奉納による大菊3本立てなどの多種多様な菊花を約1ヶ月間展示します。見頃は11月初旬です。

【日時】10月20日(金)～11月15日(水)

【お問合せ先】成田山新勝寺 TEL 0476-22-2111(8時～16時)

また、成田山菊花会では会員募集中です。

成田市近辺なら会員のための菊花栽培の出張講習が可能ですのでご検討ください。

また、来年5月には菊苗の無料配布を計画中です。

成田山菊花会会員募集については、TEL 090-7901-0532(大野)まで、お問合せください。



千葉県立房総のむら「薬」

漢方に造詣の深い薬剤師が、体に穏やかに作用する漢方薬の解説を行います。

【開催日時】10月9日(月・祝)、22日(日) 10時～12時、13時30分～15時30分

【休館日】月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館。)

【入館料】一般300円、高大生150円、中学生以下と65歳以上は無料

【お問合せ先】千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

いざ！成田詣へ～街道旅日記～その⑪

今月は、戦後の成田についてご案内いたします。成田山への参詣客は、太平洋戦争後やや減少しましたが、昭和25年(1950年)6月頃から活気を取り戻しました。なかでも交通安全祈願が新たに注目を集めるなど、新時代の要求に応えた活動に特徴がみられます。

年々増加するご信徒さんの利便性を図るべく、成田山では門前にあった成田赤十字病院の建物を買収し、昭和34年(1959年)第一信徒会館を新装しました。しかしそれもすぐに手狭となり、昭和38年(1963年)には、第二信徒会館が建てられました。

参詣客のいちじるしい増加の中、時代の流れにのり、自動車による参詣が増えていきました。昭和32年には、正月1日から20日までの間に、駐車場利用台数は2万台で、その人員は38万人でした。一方、国鉄利用者は22万人、京成利用者は26万人でした。昭和36年(1961年)になると、正月の三が日に訪れた車だけで6万4千台に上り、道路の整備と駐車場の増設が進みました。

初詣のほかにも、節分会、早春の梅まつり、夏の祇園祭に秋の菊花展など、成田山や市内恒例の行事にも多くの観光客を集め、昭和35年(1960年)7月には、国鉄の周遊地指定の許可を受け、成田は主要観光地の仲間入りをしたのです。



戦後の成田山の一つのピークを形作ったのは、昭和43年(1968年)の新本堂建立と言えるでしょう。

激増する参詣客に対応するためもあって、新本堂は前本堂の4倍の大きさをもつ、近代的な鉄筋コンクリート造りとなりました。新本堂の完成を記念する開帳法要は、同年3月28日～5月28日の間執り行われ、366万人の参詣客を集めました。この年、年間の参拝者数が、初めて1千万人を突破し、以後も順調に発展を続けています。(次回に続きます)

☆イベント等の関連情報については、FEEL成田 (<https://www.nrtk.jp>) をご覧下さい。☆